

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【公開番号】特開2006-25339(P2006-25339A)

【公開日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-004

【出願番号】特願2004-203478(P2004-203478)

【国際特許分類】

H 0 4 N 9/04 (2006.01)

H 0 4 N 9/73 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 9/04 B

H 0 4 N 9/73 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月3日(2007.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ホワイトバランス調整時点での光の入射量を調整する絞りの絞り状態を検出する絞り検出手段と、

前記絞り検出手段により検出された前記ホワイトバランス調整時点での前記絞り状態と、実際の撮影時点での前記絞り状態に基づき、ホワイトバランス補正を行うホワイトバランス補正手段とを有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記ホワイトバランス調整時、あるいは映像撮影時におけるレンズのフォーカスを検出するフォーカス検出手段を有し、

前記ホワイトバランス補正手段は、ホワイトバランスを調整した時点と、実際の撮影時点のフォーカス状態に基づき、前記ホワイトバランス補正を行うことを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記ホワイトバランス調整時、あるいは映像撮影時におけるレンズのズーム状態を検出するズーム検出手段を有し、

前記ホワイトバランス補正手段は、ホワイトバランスを調整した時点と、実際の撮影時点のズーム状態に基づき、前記ホワイトバランス補正を行うことを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記ホワイトバランス補正手段は、前記ホワイトバランスを調整した時点での絞り状態と、実際の撮影時点との絞り状態との差分を検出する差分検出手段を有することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項5】

前記差分検出手段は、設定された閾値以上の絞り値であれば一定値として扱い、ホワイトバランスを調整した時点と、実際の撮影時点との絞り状態の差分を求ることを特徴とする請求項4に記載の撮像装置。

【請求項6】

ホワイトバランス調整時点での光の入射量を調整する絞りの絞り状態を検出する絞り検出工程と、

前記絞り検出工程により検出された前記ホワイトバランス調整時点での絞り状態と、実際の撮影時点での絞り状態に基づき、ホワイトバランス補正を行うホワイトバランス補正工程とを有することを特徴とする撮像方法。

【請求項 7】

ホワイトバランス調整時点での光の入射量を調整する絞りの絞り状態を検出する絞り検出工程と、

前記絞り検出工程により検出された前記ホワイトバランス調整時点での絞り状態と、実際の撮影時点での絞り状態に基づき、ホワイトバランス補正を行うホワイトバランス補正工程とをコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のコンピュータプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明のコンピュータプログラムは、ホワイトバランス調整時点での光の入射量を調整する絞りの絞り状態を検出する絞り検出工程と、前記絞り検出工程により検出された前記ホワイトバランス調整時点での絞り状態と、実際の撮影時点での絞り状態に基づき、ホワイトバランス補正を行うホワイトバランス補正工程とをコンピュータに実行させることを特徴とする。